

単元でつきたい力（ステップシートの項目）

- （教科等でつきたい力）
- ・語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容が分かるように書き表し方を工夫する。
 - ・身近にあるものを使って、おもちゃを作る活動を通して、みんなで楽しみながら遊びを作る。（学校図書館等の活用でつきたい力）
 - ・共通と相違、事柄の順序など、情報と情報の関係を捉える。
 - ・知識（調べたこと）と体験をつなげる。
 - ・抜き書きをしたり、絵や文などを用いたりして、調べたことをまとめる。

本単元で育む主な情報活用能力

C-STEP 1, G-STEP 1
H-STEP 1

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開（全13時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (5時間)	○「紙コップ花火の作り方」を学習する。 ・学習の見通しをもつ。 ・「紙コップ花火の作り方」を読み、文章のまとまりを確認する。 ・紙コップ花火を作る。 ・作り方をわかりやすく伝えるための工夫を見つける。 ・筆者の工夫を伝えあい、学習をまとめる。
第2次 (3時間)	○1年生に紹介するおもちゃの作り方を調べて、作る。(☆) ・作り方を紹介するおもちゃを決めて、図書館資料から必要な材料や道具を調べて、情報カードに書く。 ・資料を見ながら、実際におもちゃを作って、作り方を確かめて、情報カードにまとめる。(本時) ・作り方を説明する文章を書く時に必要な絵や写真を用意する。
第3次 (5時間)	○情報カードをもとに説明する文章を書く。 ・「紙コップ花火の作り方」をふり取り、文章の組み立てを確認する。 ・おもちゃの作り方を説明する文章を書く。 ・おもちゃまつりで説明するために、模造紙に作り方をまとめる。 ・友だちの文章を読み、よいと思ったところを伝え合う。

本時のねらい

- ・実際におもちゃを作って、作り方を確かめて、情報カードにまとめよう。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	1. 情報カードを見て、材料と道具を準備する。 ・前時に図書館資料で調べて書いた情報カードを見て、材料と道具を準備する。	・材料を並べて置いておき、情報カードを見ながら自分で集められるようにしておく。
展開 (30分)	2. 実際におもちゃの作り方を確かめる。 ・図書館資料を見ながら、グループで協力しておもちゃを作る。 ・おもちゃの作り方の順番を確認する。 ・できたおもちゃで遊んでみて、遊び方やルールを考える。	1冊しかない本は、必要な部分をクロームブックで撮影しておくように助言する。 ・自分のおもちゃが完成したら、グループの困っている子を手伝わせる。その際、作り方を教えるのではなく、資料のどこを読めばわかるのかを伝えさせるようにする。 ・1年生が楽しめるように、遊び方やルールを工夫させる。
まとめ (10分)	3. おもちゃの作り方を情報カードにまとめる。 ・確かめた作り方と遊び方や楽しみ方を情報カードに書く。	・作り方を書く時には、順番に気をつけて、箇条書きで書くように助言する。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・「1年生におもちゃまつりで遊んでもらったおもちゃの説明書を渡す」ということを単元のゴールにすることで、単元を通じて、目的意識を持って取り組むことができた。また、1年生が作れるか楽しめるかという視点で考えることで、説明書を書くことができた。
- ・「紙コップ花火の作り方」で分かりやすくするための工夫をたくさん見つけたことで、豊かな作文を書くことができた。
- ・実際におもちゃを作ってみることで、作り方の分かりにくいところを見つけることができ、絵や写真を準備したり、詳しく説明する言葉をつけ足したりすることができた。



1年生に作り方を説明している様子